

学力向上研究指定校に聞きました！ 研究（校内研修）を進める際の 悩みを解決するヒント！

①研究（校内研修）の時間をどのように生み出しているか。

- ・複数の研究授業を時間をずらして同日に位置付け、一度にまとめて研究協議を行うようにする。
- ・「研究コーナー」に机や椅子、各部会の予定表などを設置し、教員がいつでも集まれる場所を設置することで、適宜研究について語れるようにする。
- ・学年会や教科部会の時間、朝や夕方の打合せを有効に、かつ、効率的に使い、研究に関することを話題にしたり、情報交換をしたりする。
- ・放課後の職員会議等を精選し、教材研究等に当てられる時間を生み出している。

②授業を見る機会をどのように増やしているか。

- ・研修計画に校内授業研究会を位置付け、全員授業を合い言葉にし、日頃から、授業を見合う雰囲気づくりを行うようにする。
- ・教科主任、学年主任等のリーダーシップで、教科部会や学年部会内の「ミニ授業研究会」を実施するようにする。
- ・初任者研修、十年経験者研修の該当教員の授業や教育実習生への師範授業などを大切にして、可能な限り全教員で参観し合うようにする。
- ・市町内外の研究会に積極的に参加し、校内で研修報告を共有していく。

③教員は、どのようなときに研究への充実感、満足感などを感じ、次への研究意欲となるのか。

- ・児童生徒や教師の指導力に、研究の成果や成長した姿が見られたと実感できたときである。
- ・教員同士が笑顔でいきいきと研究について語り合えるときである。
- ・授業研究の後、自分の授業が自校の研究のためになったと実感したときである。
- ・指導者から自校の研究のよさを評価していただいたり、自校の実践が他校に認められたりしたときである。

④研究内容は、どのように発信すると効果的か。

- ・指導者に積極的に研究内容をアピールし、他校の訪問や研究会の場で研究内容を紹介していただく。
- ・学校通信、学年通信、学校のホームページを活用し、研究の内容、児童生徒の成長した姿を、他校や家庭、地域へと発信する。
- ・研究発表会は、授業を通して参会者へ研究の情報を提供するとともに、保護者への授業公開日としても位置付ける。
- ・学校のホームページで積極的に紹介する。また、県の研究委嘱であれば、県のホームページとリンクを設定してもらい、成果を発信する。
- ・研究発表会に参加した学校にすぐに使ってもらえるような効果的なワークシートやアンケートなどを提供する。